2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上場会社名　株式会社フジシールインターナショナル　　上場取引所　東
コード番号　7864　URL https://www.fujiseal.com
代表者　（役職名）代表執行役社長 CEO　（氏名）岡崎 成子
問合せ先責任者　（役職名）IR室長　（氏名）後藤 文孝　TEL 06-6350-1080

半期報告書提出予定日　2026年11月12日　配当支払開始予定日　2026年12月1日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	123,211	12.7	12,845	10.1	12,975	8.1	9,091	△0.6
2026年3月期中間期	109,328	3.9	11,671	27.1	12,004	39.9	9,147	60.5

(注)包括利益　2027年3月期中間期　10,814百万円（80.1%）　2026年3月期中間期　6,003百万円　（△57.9%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	170.31	―
2026年3月期中間期	171.61	―

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	256,567	169,855	66.2	3,178.28
2026年3月期	226,082	161,264	71.3	3,023.11

(参考)自己資本　2027年3月期中間期　169,855百万円　2026年3月期　161,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	35.00	―	46.00	81.00
2027年3月期	―	43.00			
2027年3月期(予想)			―	44.00	87.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	228,600	5.0	22,200	8.5	22,400	1.8	15,300	△25.9	286.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更　：無

新規　－ 社　（社名）　　、除外　－ 社　（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期中間期	60,161,956株	2026年3月期	60,161,956株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	6,719,231株	2026年3月期	6,818,091株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	53,385,669株	2026年3月期中間期	53,302,955株

（注）期末自己株式数には、従業員持株ＥＳＯＰ信託口及び株式付与ＥＳＯＰ信託口が保有する当社株式を含めております。また、各信託口が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2026年11月11日に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。

当日使用する決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
（４）研究開発活動 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（追加情報） …… 12
（中間連結損益計算書に関する注記） …… 12
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 13

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における経営成績は、売上高1,232億11百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益128億45百万円（前年同期比10.1%増）、経常利益129億75百万円（前年同期比8.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は90億91百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

（単位：百万円）

	2026年３月期 中間連結会計期間	2027年３月期 中間連結会計期間	増減率
売上高	109,328	123,211	12.7%
営業利益	11,671	12,845	10.1%
経常利益	12,004	12,975	8.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	9,147	9,091	△0.6%
米ドル平均為替レート（円）	148.40	158.29	6.7%
ユーロ平均為替レート（円）	162.25	184.55	13.7%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	2026年３月期 中間連結会計期間	2027年３月期 中間連結会計期間	増減率	現地通貨 増減率
日本				
シュリンクラベル	26,139	27,996	7.1%	―
タックラベル	3,852	3,734	△3.1%	―
ソフトパウチ	11,659	12,368	6.1%	―
機械	2,437	3,056	25.4%	―
その他	7,678	8,130	5.9%	―
売上高合計	51,768	55,286	6.8%	―
営業利益	5,379	6,216	15.6%	―
米州				
シュリンクラベル	28,485	32,206	13.1%	6.0%
タックラベル	1,337	1,553	16.2%	8.9%
ソフトパウチ	138	609	340.7%	313.1%
機械	3,736	4,126	10.4%	3.5%
売上高合計	33,697	38,495	14.2%	7.1%
営業利益	4,228	4,007	△5.2%	△11.2%
欧州				
シュリンクラベル	10,001	11,520	15.2%	1.3%
タックラベル	3,597	3,661	1.8%	△10.5%
機械	5,871	6,645	13.2%	△0.5%
売上高合計	19,470	21,828	12.1%	△1.4%
営業利益	1,693	1,129	△33.3%	△41.4%
アセアン				
シュリンクラベル	4,964	6,242	25.7%	17.9%
タックラベル	15	58	283.4%	259.5%
ソフトパウチ	4,119	5,443	32.1%	23.9%
機械	190	836	338.3%	310.9%
その他	31	54	72.7%	61.9%
売上高合計	9,321	12,635	35.6%	27.1%
営業利益	753	1,453	93.0%	80.9%

	2026年３月期 中間連結会計期間	2027年３月期 中間連結会計期間	増減率	現地通貨 増減率
売上高				
売上高	114,256	128,246	－	－
調整額	△4,928	△5,035	－	－
連結売上高	109,328	123,211	12.7%	7.4%
営業利益				
営業利益	12,055	12,806	－	－
調整額	△383	39	－	－
連結営業利益	11,671	12,845	10.1%	6.0%

（日本）

シュリンクラベルは売上高279億96百万円（前年同期比7.1%増）、タックラベルは売上高37億34百万円（前年同期比3.1%減）、ソフトパウチは売上高123億68百万円（前年同期比6.1%増）、機械は売上高30億56百万円（前年同期比25.4%増）、その他は売上高81億30百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

その結果、日本全体の売上高は552億86百万円（前年同期比6.8%増）、損益面は営業利益62億16百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

（米州）

シュリンクラベルは売上高322億６百万円（前年同期比13.1%増、現地通貨ベース6.0%増）、タックラベルは売上高15億53百万円（前年同期比16.2%増、現地通貨ベース8.9%増）、ソフトパウチは売上高６億９百万円（前年同期比340.7%増、現地通貨ベース313.1%増）、機械は売上高41億26百万円（前年同期比10.4%増、現地通貨ベース3.5%増）となりました。

その結果、米州全体の売上高は384億95百万円（前年同期比14.2%増、現地通貨ベース7.1%増）、損益面は営業利益40億７百万円（前年同期比5.2%減、現地通貨ベース11.2%減）となりました。

（欧州）

シュリンクラベルは売上高115億20百万円（前年同期比15.2%増、現地通貨ベース1.3%増）、タックラベルは売上高36億61百万円（前年同期比1.8%増、現地通貨ベース10.5%減）、機械は売上高66億45百万円（前年同期比13.2%増、現地通貨ベース0.5%減）となりました。

その結果、欧州全体の売上高は218億28百万円（前年同期比12.1%増、現地通貨ベース1.4%減）、損益面は営業利益11億29百万円（前年同期比33.3%減、現地通貨ベース41.4%減）となりました。

（アセアン）

シュリンクラベルは売上高62億42百万円（前年同期比25.7%増、現地通貨ベース17.9%増）、タックラベルは売上高58百万円（前年同期比283.4%増、現地通貨ベース259.5%増）、ソフトパウチは売上高54億43百万円（前年同期比32.1%増、現地通貨ベース23.9%増）、機械は売上高８億36百万円（前年同期比338.3%増、現地通貨ベース310.9%増）、その他は売上高54百万円（前年同期比72.7%増、現地通貨ベース61.9%増）となりました。

その結果、アセアン全体の売上高は126億35百万円（前年同期比35.6%増、現地通貨ベース27.1%増）、損益面は営業利益14億53百万円（前年同期比93.0%増、現地通貨ベース80.9%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当中間連結会計期間末における総資産は2,565億67百万円となり、前連結会計年度末と比べ304億85百万円の増加となりました。

その主な要因は、現金及び預金が62億20百万円増加したこと、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）が89億25百万円増加したこと、棚卸資産が58億58百万円増加したこと、有形固定資産が81億33百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は867億11百万円で、前連結会計年度末と比べ218億93百万円の増加となりました。これは、買掛金（電子記録債務を含む）が66億20百万円増加したこと、借入金が130億66百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は1,698億55百万円で、前連結会計年度末と比べ85億91百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が66億21百万円増加したこと、為替換算調整勘定が16億89百万円増加したことなどによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、75億36百万円の収入（前年同期は121億28百万円の収入）となりました。これは税金等調整前中間純利益128億57百万円、減価償却費43億82百万円などの計上、仕入債務の増加額64億91百万円などによる収入、売上債権の増加額82億54百万円、棚卸資産の増加額53億85百万円、法人税等の支払額５億14百万円などによる支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、114億45百万円の支出（前年同期は８億72百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出108億９百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、102億91百万円の収入（前年同期は41億４百万円の支出）となりました。これは、借入金の増加額128億72百万円などによる収入、配当金の支払額24億70百万円などによるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ61億38百万円増加の414億83百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年５月13日付の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

（４）研究開発活動

当中間連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、11億94百万円であります。

なお、当中間連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,801	42,021
受取手形及び売掛金	56,232	59,928
電子記録債権	10,296	15,526
商品及び製品	11,162	13,353
仕掛品	7,086	8,689
原材料及び貯蔵品	10,550	12,614
その他	7,595	8,892
貸倒引当金	△95	△94
流動資産合計	138,630	160,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,528	35,837
機械装置及び運搬具（純額）	21,559	24,281
工具器具備品（純額）	2,751	2,833
土地	9,331	9,279
リース資産（純額）	291	312
建設仮勘定	13,791	9,871
その他（純額）	876	848
有形固定資産合計	75,129	83,262
無形固定資産		
のれん	936	891
その他	1,261	1,515
無形固定資産合計	2,197	2,407
投資その他の資産		
投資有価証券	3,135	3,216
繰延税金資産	3,287	3,013
その他	3,789	3,826
貸倒引当金	△88	△92
投資その他の資産合計	10,124	9,963
固定資産合計	87,451	95,634
資産合計	226,082	256,567

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,408	20,692
電子記録債務	8,672	11,008
短期借入金	4,000	9,871
１年内返済予定の長期借入金	745	2,118
リース債務	89	97
未払金	4,706	4,914
未払法人税等	703	2,998
賞与引当金	2,720	2,306
その他	14,872	14,784
流動負債合計	52,919	68,793
固定負債		
長期借入金	5,613	11,436
リース債務	103	113
繰延税金負債	1,739	1,861
退職給付に係る負債	2,986	3,024
その他	1,455	1,482
固定負債合計	11,898	17,918
負債合計	64,817	86,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,990	5,990
資本剰余金	6,665	6,861
利益剰余金	135,909	142,530
自己株式	△12,056	△12,005
株主資本合計	136,508	143,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	991	1,034
繰延ヘッジ損益	△3	－
為替換算調整勘定	23,556	25,245
退職給付に係る調整累計額	211	198
その他の包括利益累計額合計	24,755	26,478
純資産合計	161,264	169,855
負債純資産合計	226,082	256,567

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	109,328	123,211
売上原価	84,317	94,218
売上総利益	25,010	28,992
販売費及び一般管理費	※1 13,339	※1 16,146
営業利益	11,671	12,845
営業外収益		
受取利息	200	211
受取配当金	70	84
為替差益	109	－
その他	101	109
営業外収益合計	481	405
営業外費用		
支払利息	114	156
為替差損	－	107
休止固定資産減価償却費	33	1
その他	1	8
営業外費用合計	149	274
経常利益	12,004	12,975
特別利益		
固定資産売却益	3	39
投資有価証券売却益	－	1
特別利益合計	3	40
特別損失		
固定資産除売却損	28	130
組織再編費用	※2 64	－
減損損失	※3 61	※3 28
特別損失合計	153	158
税金等調整前中間純利益	11,854	12,857
法人税、住民税及び事業税	2,963	3,420
法人税等調整額	△256	345
法人税等合計	2,706	3,765
中間純利益	9,147	9,091
親会社株主に帰属する中間純利益	9,147	9,091

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	9,147	9,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	43
繰延ヘッジ損益	△0	3
為替換算調整勘定	△3,011	1,689
退職給付に係る調整額	△4	△12
その他の包括利益合計	△3,143	1,722
中間包括利益	6,003	10,814
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	6,003	10,814
非支配株主に係る中間包括利益	―	―

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	11,854	12,857
減価償却費	4,039	4,382
減損損失	61	28
のれん償却額	37	44
組織再編費用	64	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△119	△1
賞与引当金の増減額（△は減少）	△266	△426
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	62	47
固定資産除売却損益（△は益）	24	90
受取利息及び受取配当金	△271	△296
支払利息	114	156
為替差損益（△は益）	△238	377
売上債権の増減額（△は増加）	△2,835	△8,254
棚卸資産の増減額（△は増加）	△999	△5,385
仕入債務の増減額（△は減少）	2,120	6,491
未払金の増減額（△は減少）	△305	106
その他	914	△2,109
小計	14,257	8,110
利息及び配当金の受取額	268	304
利息の支払額	△113	△124
組織再編費用の支払額	△45	△239
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△2,238	△514
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,128	7,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△467	△469
定期預金の払戻による収入	5,358	368
有形固定資産の取得による支出	△5,683	△10,809
有形固定資産の売却による収入	36	30
無形固定資産の取得による支出	△87	△286
投資有価証券の取得による支出	△19	△17
子会社株式の条件付取得対価の支払額	－	△174
貸付けによる支出	△0	△17
貸付金の回収による収入	3	3
その他	△11	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△872	△11,445
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△516	5,748
長期借入れによる収入	－	7,500
長期借入金の返済による支出	△359	△375
自己株式の取得による支出	△1,077	△0
自己株式の売却による収入	90	85
配当金の支払額	△2,055	△2,470
その他	△187	△196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,104	10,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	△264	△243
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	6,887	6,138
現金及び現金同等物の期首残高	29,051	35,344
現金及び現金同等物の中間期末残高	※1 35,939	※1 41,483

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アセアン」の４つで報告セグメントを構成しております。

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額(注２)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	50,762	33,688	16,498	8,379	109,328	－	109,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,005	9	2,971	941	4,928	△4,928	－
計	51,768	33,697	19,470	9,321	114,256	△4,928	109,328
セグメント利益	5,379	4,228	1,693	753	12,055	△383	11,671

（注）１．セグメント利益の調整額△383百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

２．報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

３．本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失61百万円を計上しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額(注２)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	53,524	38,491	19,127	12,067	123,211	－	123,211
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,762	3	2,700	568	5,035	△5,035	－
計	55,286	38,495	21,828	12,635	128,246	△5,035	123,211
セグメント利益	6,216	4,007	1,129	1,453	12,806	39	12,845

（注）１．セグメント利益の調整額39百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

２．報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

３．本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、ドイツ、イタリア

アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「アセアン」セグメントにおいて、固定資産の減損損失28百万円を計上しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（Fuji Seal France S.A.S.の閉鎖に向けた協議開始）

当社は、2026年10月21日開催の取締役会において、連結子会社である Fuji Seal France S.A.S.について、閉鎖に向けた労働組合等との協議を開始することを決議いたしました。詳細は適時開示「海外子会社の閉鎖に向けた労働組合等との協議開始に関するお知らせ」をご参照ください。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※１　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
給与手当	4,954百万円	5,788百万円
賞与引当金繰入額	782	819
貸倒引当金繰入額	△107	△3
退職給付費用	130	161

※２　組織再編費用

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

日本セグメントの再編に伴い発生した費用であります。その内訳は、製造移管に伴う費用64百万円であります。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

※３　減損損失

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

以下の資産グループにて減損損失を計上しております。

用途	場所	種類	金額（百万円）
処分予定資産	株式会社フジシール名張工場 （三重県名張市）	機械装置他	41
売却予定資産	京都府亀岡市	機械装置	20

当社グループは、原則として事業用資産については継続的に収支の管理を行っている管理会計上の事業区分を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産、処分予定資産及び売却予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

上記の資産のうち、株式会社フジシール名張工場の処分予定資産については、設備の老朽化により処分予定となったため、その帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、当該資産の回収可能価額は使用価値により測定しており、売却可能性が見込めないため、備忘価額で評価しております。京都府亀岡市の売却予定資産については、売却の意思決定に伴いその帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、売却予定資産の回収可能価額は正味売却価額により評価しております。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

以下の資産グループにて減損損失を計上しております。

用途	場所	種類	金額（百万円）
処分予定資産	Fuji Seal Packaging (Thailand) Co., Ltd.（タイ/サムットプラーカーン県）	機械装置	28

当社グループは、原則として事業用資産については継続的に収支の管理を行っている管理会計上の事業区分を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産、処分予定資産及び売却予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

上記の資産については、事業戦略の見直しにより処分予定となったため、その帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、当該資産は処分を前提としていることから、回収可能価額を正味売却価額により測定しておりますが、売却可能性が見込めないため、備忘価額で評価しております。

４　グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第46号2024年３月22日）第７項を適用しているため、当中間連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※１　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）
現金及び預金勘定	36,415百万円	42,021百万円
預入期間が３か月を超える定期預金	△476	△538
現金及び現金同等物	35,939	41,483